

「明日の学力」診断 予習プリント

中学2年

Q：どんな問題が出題されますか？

A：「思考力・判断力・表現力」を診断するための記述問題が中心です。日常生活に近い場面の問題が多いのも特徴のひとつです。自分の考えを自分の言葉で説明する問題に慣れましょう。

Q：思考力・判断力・表現力って何ですか？

A：思考力は「問題の内容を分析・整理して、理解する力」、判断力は「問題の解き方・答え方を決める力」、表現力は「自分の考えたことをほかの人にわかりやすく伝える力」です。

X市では、新しく図書館を建設します。資料は、その建設候補地の3か所の特徴です。現在、A地区が最有力候補です。あなたはBまたはC地区を支援するリーダーとなって、その候補地を選ぶことのよさを市民にアピールする文章を〈条件〉にしたがって書きましょう。

〈条件〉・選んだ候補地をA地区と比較し、選んだ候補地の優れている特徴を書くこと。

・選んだ候補地がA地区より劣っている点についてもふれ、選んだ候補地が不利にならないよう、対応策などを書くこと。

【資料】

*文教地区…教育に関わる施設が集まる地域

候補地	場所	建設地と建設する図書館の特徴
A	*文教地区	交通手段：X市駅から徒歩20分（隣が美術館、博物館） 徒歩15分圏内の人口：6,000人 駐車場：20台、駐輪場：50台 建設費：6億円 予定蔵書数：約25万冊 立地：平地
B	駅周辺	交通手段：X市駅から徒歩2分（隣は大型ショッピングセンター） 徒歩15分圏内の人口：12,000人 駐車場：なし、駐輪場：50台 建設費：7億円 予定蔵書数：約15万冊 立地：平地
C	郊外	交通手段：X市駅からバス15分（近所に他の施設はない） 徒歩15分圏内の人口：1,000人 駐車場：100台、駐輪場：75台 建設費：5億円 予定蔵書数：約50万冊 立地：丘陵地

解答欄

地区

▶ 解答が書けたら、裏面の解答例と解説を見てみよう！

解答例

(例) 【B地区を選択】

私はB地区に図書館を建てるのがよいと思います。なぜなら、B地区はA地区よりも駅に近く、周囲の人口も多いので、多くの人にとって利用しやすい図書館になるからです。予定蔵書数はA地区より少ないですが、近隣の図書館から取り寄せて借りられるようにすればよいので、問題はありません。

(例) 【C地区を選択】

私はC地区を薦めます。C地区ならA地区よりも蔵書数が多い図書館が建てられます。交通の便はA地区に劣りますが、周囲が静かで雰囲気の良い図書館を建てることできると思います。また、駐車場が広く、自家用車を使うことができるので、家族連れで訪れることもできるでしょう。

解説

まず、資料に、交通手段、徒歩15分^{けんない}圏内の人口、駐車場^{ちゅうしゃじょう}に置ける車の台数などが書かれていることを確認^{かくにん}します。B地区かC地区を選んで、A地区と比較^{ひかく}するので、A地区よりも優^{すぐ}れている点は何か探します。優れている点を見つけたら、その中で図書館の利用者にとって大事だ^{おと}と思うことを選び、なぜ大事なのかを自分の言葉で説明できるかどうかを考えましょう。

次に、A地区より劣^{おと}っている点について考えます。たとえばB地区なら、駐車場がない、予定蔵書数が少ない、などです。この点が重要な欠点ではないと相手に伝えたいので、どのように対応すればよいか具体案を挙げるとよいでしょう。

最後に、自分が選んだ候補地のよさが伝わるように文章を書きます。その候補地がよいと言いたいのですから、まず、B地区またはC地区の優れている点から書きましょう。次に、劣っている点にもふれ、対応策を付け加えるか、補える点を書きましょう。

「明日の学力」診断では、問題文に書かれていることを手がかりにして、答えを考え、ほかの人にもわかるように表現する力をみています。

正解が一つだけではない問題もあるので、あなたなりの答えを書いてみましょう！